

# 第6章 エリア構想

## エリア構想の趣旨

本県の2040年頃の目指すべき将来像を見据え、現時点から各地域の特色ある地域資源や特性を生かした地域主体の地域づくりを進めるとともに、東予・中予・南予各地域の活性化につなげていくための今後の指針として、これら地域ごとにエリア構想を策定します。

この構想のもと、地方局予算等を活用しながら、それぞれの地域における課題解決を図り、より独創性・独自性を発揮し、明るい未来を拓く地域振興のための施策を展開していきます。

## 重視すべき視点

- 人口減少対策や少子高齢化の課題解決に向け、市町連携及び住民主体の地域づくりを重視します。
- 各エリアの地域づくりの方向性は、各地域が目指すコンセプトを提示するとともに、地域の特性や自然環境、産業構造などの違いを踏まえて、それぞれの地域で特色のある取組みを掲げます。
- 県外からの誘客を目的とした大規模イベントや施設整備、既存の地域資源の磨き上げなど、各市町の取組みも含め、これからの県や地域のあり方に大きな影響を与える動きにも注目します。  
※各市町が実施している取組みについては、市町名を括弧書きで付記しております。
- 県民が夢や希望が持てる将来像を積極的に盛り込みながら、目指すべき姿の実現に向け、特色ある地域づくりを進めるために必要となる視点を加えます。

## 圏域の考え方

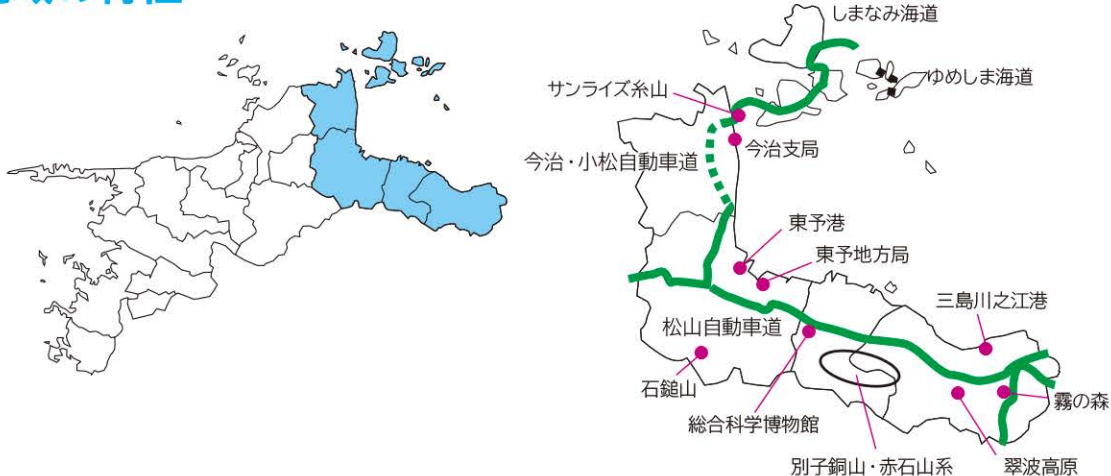
高速道路などの社会基盤の拡充・整備や、DXの推進に伴う生活・経済圏域の広域化に加え、自治体間の連携や機能分担の必要性が高まるなど、次第に、様々な行政課題への広域的な対処が求められるようになっていますが、広域行政の中核拠点として、東予・中予・南予の各地方局が管轄するそれぞれの地域を、一体的な地域づくりを推進する圏域として設定することとします。

<b>東予エリア</b> (4市1町)	今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、上島町
<b>中予エリア</b> (3市3町)	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町
<b>南予エリア</b> (4市5町)	宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町

# (1) 東予エリア

今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、上島町

## ■ 地域の特徴



### 【地理】

- 東予地域は、東西にわたって接続する10万人前後の規模の4市と瀬戸内海のほぼ中央に浮かぶ25島から成る上島町によって構成されています。
- 四国4県を高速道路で8の字に結ぶ「四国8の字ネットワーク」の結節点を有し、瀬戸内しまなみ海道によって広島県ともつながっているほか、東予港や三島川之江港など、4つの重要港湾を擁しています。

### 【自然】

- 燧灘に沿って中央構造線が東西に走り、その北には多島美を誇るしまなみ地域や干拓による海拔ゼロメートル地帯が広がる一方、南には石鎚山・赤石山系の険しい山々が連なっており、比較的温暖な気候の下、希少生物も生息する雄大で豊かな自然環境を有しています。
- 瀬戸内海に面し、年間通じて降水量が比較的少なくなっています。

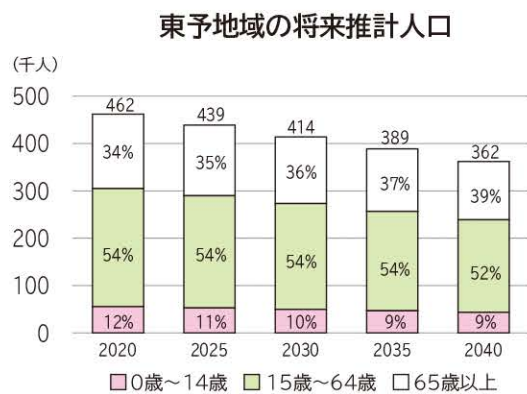
### 【観光文化】

- 自転車道を併設する瀬戸内しまなみ海道は、国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」などを契機として知名度が向上し、国内外から多くの観光客やサイクリストが訪れており、世界に冠たる「サイクリストの聖地」として注目されています。
- 日本遺産に認定された村上海賊の遺産群やものづくり産業の礎となった別子銅山のほか、国史跡に指定された弓削島荘遺跡（塩の荘園）、新居浜太鼓祭り、西条まつり（だんじり）など魅力的な歴史文化資源が数多く存在します。

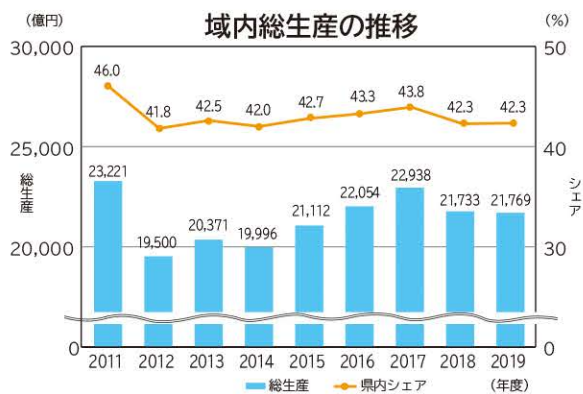
### 【産業】

- 製紙・紙加工業が集積する四国中央市、住友グループの企業城下町として発展してきた新居浜市、造船・鉄鋼・電子部品などの工場が立地する西条市、繊維産業や海事産業が集積する今治市と、地域ごとに特徴のある産業が発展し、この圏域の製造品出荷額の合計は県全体の約8割を占め、四国最大のものづくり産業の集積地となっています。
- かんきつ類に加え、米麦、さといも、いちごなどの野菜、柿、キウイフルーツなどの落葉果樹、茶等、自然条件を生かした多種多様な農産物の生産や、海苔養殖などの水産業、養鶏や養豚など畜産業も盛んに行われています。

## ■地域の現状と課題



〔出典〕愛媛県推計



〔出典〕令和元年度愛媛県市町民所得統計

- 令和2（2020）年の総人口は46.2万人ですが、超少子高齢化の進行により、緩やかに人口の減少が続く見込みであり、このままの状態推移した場合、令和22（2040）年には36.2万人にまで減少すると推計しています。
- 令和3（2021）年の人口の移動状況は、1,250人の転出超過であり、東京圏・関西地方への転出が大きいですが、県内（主に中予）への転出も全体の約3割を占めています。
- ものづくり（製造業）関連の中小企業や小規模事業者が多い当地域では、人口減少による働き手の不足が産業に及ぼす影響は大きく、求人側と求職側のニーズが一致しない雇用のミスマッチ解消による人材の確保・育成、県下の約6割を占める外国人材の受入体制の整備やデジタル技術の活用による生産性の向上に加え、地域の産業基盤を維持していくため、中小企業の事業継承も重要な課題です。
- しまなみ海道サイクリングロードは、国のナショナルサイクルルートに指定されるなど国内外から高い評価を受けており、滞在型観光による地域内での観光消費の拡大やサイクリストのマナー向上など、更なる魅力向上に向けた取組みが必要です。
- 西日本最高峰の石鎚山や赤石山系など魅力ある山岳、日本遺産に認定された村上上海賊の遺産群、近代化の歴史を物語る別子銅山産業遺産、水引細工等の伝統的な紙文化など、他に誇るべき観光資源は豊富にあるものの、一体的な魅力発信による一層の活用が課題です。
- 道前平野をはじめ米・麦・大豆の集落営農が盛んな地域であるものの、県内で最も進む担い手の高齢化や生産基盤強化に向けた多角化経営への転換、農業水利施設等の老朽化に伴う管理者負担の増大などが大きな課題となっています。
- 平成30年7月豪雨で被災した園地の再編復旧をはじめ、国内最大規模のCLT工場を核とした木材流通改革や新たな海面養殖業の普及などにも取り組んでいく必要があります。
- 人口減少によって山間部などの生活バス路線や島しょ部の生活航路の存続が難しくなっているほか、市街地においても商店街を中心とする中心市街地の空洞化などによる都市機能の低下が進んでいます。
- 医師の減少や高齢化が顕著となっていることに加え、その他の医療従事者も不足しており、地域医療を維持するために必要な人材の確保は大きな課題となっています。
- 県下の障がい者雇用義務企業の約4割が集積しているため、企業における障がい者の雇用者数や定着率の向上が求められています。
- 沿岸部を中心とした海拔ゼロメートル地帯は、住宅や医療機関、企業等が集中しており、県地震被害想定調査では、南海トラフ地震発生時に、津波や広域浸水による甚大な被害が想定されているため、被害を減らすための備えは喫緊の課題です。
- 四国中央市に生活用水と工業用水を供給する銅山川では、降水量が少ない影響で取水制限

に至る年がある一方で、急峻な山間部と多くの河川を有しているため、近年の気候変動の影響により頻発・激甚化する集中豪雨等による水災害リスクの増大も、大きな課題となっています。

## ■地域づくりの方向性(目指すべき姿)

### エリアコンセプト

ものづくり産業と魅力ある自然や歴史文化資源等を核として  
地域の発展を支える活力創造エリア

### 1 ものづくり企業を基軸とした持続的な成長を実現する経済基盤の形成

- 若年人材の県内企業への就職支援や誰でも働きやすい職場環境づくり、外国人材の受入体制の強化やDX推進に向けた人材の確保・育成など、ものづくり企業への人材確保支援を通じた地域経済全体の活性化
- 地域の産業を支える中小企業の体質強化と創業支援、円滑な事業承継対策
- 企業による人口減少対策の取組みを促進するためのネットワークづくりなどの機運醸成
- 今治あきない商社(今治版地域総合商社)による、資金、消費の市外への流出を流入に変え、地域での所得の循環を目指す取組みの推進〔今治市〕
- 脱プラスチックに向けたペーパーファイルの利活用促進〔四国中央市〕

### 2 魅力ある観光交流圏の創造

- 来島海峡大橋(クラウンブリッジ)を核とした更なるサイクルツーリズムブランドの形成・発信による瀬戸内しまなみ海道及び岩城橋の開通(令和4年)をもって完成したゆめしま海道〔上島町〕の魅力向上
- しまなみエリアや石鎚エリアを中心としたサイクリングや登山などの体験型コンテンツのブラッシュアップと近隣エリアと連携した滞在型観光の促進、外国人観光客の受入強化
- 東予東部圏域振興イベント(えひめさんさん物語(平成31年~令和元年開催))のレガシーをはじめ、別子銅山産業遺産(旧端出場水力発電所(令和5年3月から公開)〔新居浜市〕)などの歴史文化資源や石鎚山・赤石山系、鈍川温泉〔今治市〕などの豊かな自然環境を生かした、活力を創造する観光交流・地域振興
- 高速道路ネットワークのミッシングリンクである今治小松自動車道「今治道路」の整備促進

### 3 地域の特性を生かした農林水産業の振興

- 農家アドバイザーによる独自の新規就農者支援体制を構築し、増加する移住者を農林水産業の担い手に育成
- 区画の大きい水田基盤整備ほ場や傾斜が緩やかな果樹園地など、スマート農業に適した農場を活用し、収益性の高い農業経営を実現
- 従事者減少と高齢化に対応する「半農半X」<sup>はんのうはんエックス</sup>の推進による移住・定住の促進
- 四国最大のものづくり産業との農商工連携や6次産業化の推進
- 地域の気象条件や流通等を生かした農産物の戦略的な産地づくりの推進
- 東予地域で被害が大きいサルによる農作物被害の軽減に向けて、えひめ地域鳥獣管理専門員の連携組織を核とした地域住民主体による対策を推進
- 県内の約9割を占める老朽化した排水ポンプ場をはじめとする農業水利施設等の計画的かつ効率的な長寿命化対策
- 木材を効率的に搬出するための中間土場(円山ウッドヤード)の設置による木材流通改

革の推進と全国屈指のCLT工場などの高度化支援による競争力強化や中高層建築物等への木材利用促進

○瀬戸内海の水産資源の回復

○大規模な経営体が集中する畜産業の防疫衛生対策と生産振興

#### 4 健康と安心が支える<sup>えがお</sup>愛顔あふれる地域づくり

○高齢者等と共生するコミュニティ力の充実及び人と動物に心地よいまちづくり

○障がい者雇用義務のある企業が多く立地する背景を踏まえた、障がい者の就労継続及び就労定着率の向上

○UIターンによる移住拡大と、移住者へのサポート体制の構築や地域住民との融和・連携支援による定住促進（市町においても、若者・子育て世代をメインターゲットに、完全オーダーメイドによる独自のサポート戦略の推進〔西条市〕、陸地部と島しょ部それぞれの魅力を発信し、あらゆる世代から選ばれる取組み〔今治市〕等を推進）

○島しょ部や山間部をはじめ、人口集積地においても進む公共交通空白地帯の拡大に対応するため、デジタル技術を活用したデマンド交通や自動運転、「空飛ぶクルマ」などの新たな技術の導入を促進し、住民の移動手段の確保と利便性の向上を実現

○東予歴史文化協議会を中心に、産学官が連携した歴史文化資源の活用によるシビックプライドの醸成

#### 5 地域の実情に応じた災害対応力の一層の強化

○東予地域における地震被害想定を踏まえ、海拔ゼロメートル地帯における早期浸水避難対策の検討をはじめ、行政間や企業、住民が連携・協力し、自助・共助への意識向上や正しい避難行動につながる情報発信、ハザードマップの作成支援、高齢者や外国人等の災害弱者を含め一人でも多くの命を守るための新技術を活用した防災・減災対策と長期浸水対策の推進

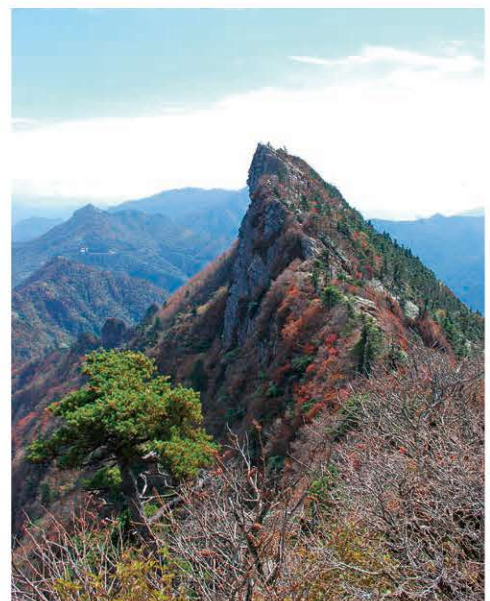
○大規模災害に備え、コンビナート企業、行政、周辺住民がより一層連携した防災・減災体制の構築

○管内重要港湾の整備や港湾・海岸施設等の耐震化・老朽化対策の推進

○県全体の約4割を占める、対策が必要と判定された防災重点ため池の改修等の推進



来島海峡大橋と多島美



石鎚山

## (2) 中予エリア

松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町、久万高原町

### ■ 地域の特性



#### 【地理】

- 中予地域は、県の中央部に位置し、3市3町から構成され、県都松山市と、同市を取り囲むように各市町が配置されています。
- 愛媛県のほぼ中央に位置する松山港は、重要港湾として指定され、古くから、本県と本州・九州とを結ぶ拠点となっています。

#### 【自然】

- 穏やかな瀬戸内海を臨む海岸部から重信川流域に松山平野が広がり、なだらかな丘陵が緑を彩りながら、山間部の石鎚国立公園へとつながるなど、豊かな自然や美しい景観に恵まれています。
- 瀬戸内海に面した地域では、年間通じて降水量が比較的少なくなっています。
- 一方、県下で最も広い面積を占める久万高原町など、標高1,000メートルを超える四国山地に囲まれる地域では、比較的冷涼な気候となっており、冬季の積雪も頻繁に観測されます。

#### 【観光文化】

- 国際線もある松山空港のほか、松山観光港、JR松山駅など、中予地域は観光面での玄関口としての役割・機能を有しており、全国的に有名な道後温泉をはじめとして歴史や文学にまつわる観光資源が数多く存在するなど、ソフト・ハードの両面で、県下の観光をけん引する存在となっています。
- 大学等の高等教育機関、医療機関、美術館や博物館などの文化施設、各種競技施設なども有しており、様々な分野のリーディングゾーンとなっています。
- 里山等の豊かな自然と美しい景観は、観光資源として高いポテンシャルを有しています。

#### 【産業】

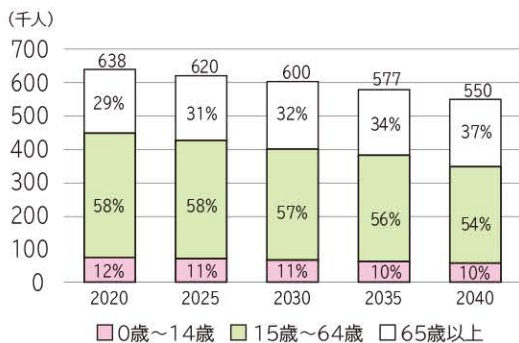
- 県都松山市を中心に県内随一の商業機能を持ち、化学繊維、一般機械、健康・医療機器、食品加工などの大手製造業や、これを支える中小関連企業のほか、県内の情報サービス業の大半が立地しています。
- 韓国や台湾等との国際定期貨物航路を有する松山港や、コンベンション機能を有する愛媛

国際貿易センターなどが立地しており、重要な国際物流拠点となっています。

○都市近郊においては、紅まどんな・せとか・甘平・キウイフルーツ・栗などの果樹、米麦、いちご・なす・さといも・ユウカリ・さくらひめ等の野菜・花き類が生産されるほか、高冷地特有の気候を生かしたトマト・ピーマン・米などの多様な農産物、豊かな森林資源を生かした木材、シラスやハモなどの水産物など、地域の特色ある農林水産物も盛んに産出されています。

## ■地域の現状と課題

中予地域の将来推計人口



〔出典〕愛媛県推計

域内総生産の推移



〔出典〕令和元年度愛媛県市町民所得統計

○令和2(2020)年の総人口は63.8万人で、本県の5割弱を有していますが、超少子高齢化の進行により、この地域においても人口は減少傾向にあり、特に、山間部・島しょ部では、高齢化や人口減少が急速に進むと見込まれており、このままの状態推移した場合、令和22(2040)年には55万人に減少すると推計しています。

○令和3(2021)年の人口の移動状況は254人の転入超過で、東京圏・関西地方への転出が大きいものの、県内(南予・東予)からの転入も大きく、県外への転出分を補っている状況となっています。

○特に山間部や島しょ部では、集落機能の維持や生産・生活基盤の確保、地域の振興、安全・安心の確保が大きな課題となっており、若者の定住促進、集落とNPO法人・ボランティアとの協働などにより、人口減少下にあっても持続可能な地域に向けた取組みが不可欠です。

○松山市を中心とする都市部では、公園整備、慢性的な渋滞の緩和や交通安全の確保など、都市機能の強化が求められるほか、渇水時の危機回避のため、水源の確保や節水への取組みが課題です。

○この地域には、雇用吸収力のある産業が数多く立地しており、今後とも都市機能を維持することで人口の県外流出をせき止める役割が期待されますが、加えて、少子高齢化が進む中、地域間競争の激化が見込まれる人口減少問題に対応するためには、全国から移住・定住先として“選ばれる地域”となるための魅力向上や情報発信が課題となっています。



JR松山駅付近連続立体交差事業  
+松山駅周辺土地区画整理事業



松山市下難波地区の樹園地再編整備



松山外環状道路「インター線」

## ■地域づくりの方向性(目指すべき姿)

エリアコンセプト

県内外から集まる人・モノ・情報を活用し他地域をけん引する  
多機能エリア

### 1 人口密集地域における地域防災力の向上

- 松山市全域及び周辺中山間地域における平成30年7月豪雨災害からの早期復旧と関係機関と連携した訓練・研修会の実施等による地域の防災力強化
- 地域コミュニティの維持による消防団や自主防災組織の担い手確保
- 松山市を中心とした防災重点ため池の老朽化・耐震対策の促進

### 2 人・モノなど地域に集まる資源を活用した活力の創造・推進

- 本県のリーディングゾーンで、かつ、大学等の高等教育機関が集積している地域特性を生かして、学官民共創によるヒト・モノ・情報のネットワークづくりを促進し、やりがいのある仕事にチャレンジしたい若者や女性の活躍の場と支援環境を整備
- 都市機能と自然環境が調和している「住みやすい」中予地域の魅力を情報発信することにより、移住者受入れに向けた取組みを促進
- 中予地域に住む大学生が中予地域の魅力や暮らしやすさを体験するとともに、県内企業と交流する機会を積極的に提供することにより、シビックプライドの醸成及び県内就職率の向上を図り、若者の県内定着を促進
- 〔伊予市〕特産品等の販売促進、地域の話づくりなどによる地域の活性化に向けた、松山大学、伊予農業高等学校、市内事業者や団体との民公学連携事業「iProject!」の推進
- 各市町が行う高い吸引力が見込める地域資源を生かした観光振興(全国に誇る道後温泉〔松山市〕、「アート・ヴィレッジとうおん構想」〔東温市〕、七折梅まつり・砥部焼まつり〔砥部町〕、四国カルストエリア〔久万高原町〕など)
- 〔久万高原町〕自然環境や地元産品のブラッシュアップなど、広域的な観光振興に取り組む観光DMO(DMC)や観光物産協会等による旅行商品の企画立案、プロモーションから販売までの実施

### 3 住みやすい地域の創造

- 周辺住民にとって豊かな住環境を実感できる歩行者・自転車専用道「重信川サイクリングロード」を活用した地域振興
- 都市部における様々な分野での福祉ニーズの高まり、少子高齢化の影響による若年層の減少に伴う、福祉の担い手の確保、スキル向上や処遇改善
- 伝統的特産品(砥部焼等)の創作体験などを通じた障がい児の「生きがいづくり」を創出・支援
- 県内の就労継続支援事業所の過半が在所する中予地域において、農福連携による農業労働力の確保と障がい者の自立支援を推進
- 〔松前町〕健康ポイント制度の運営や健康フォーラムの開催等により、誰もが健康で長生きできる健康づくりの推進

### 4 活力ある農林水産業の振興

- 樹園地の再編整備が先行する中予地域において、基盤整備に連動したスマート農業の導入により、全国的なモデルとなり得る平地での果樹産地の育成
- 県内最大の消費地である松山市を抱える地域特性を生かした、収益性の高い品目導入に



よる戦略的な産地づくり

- 快適な生活環境の下での都市近郊型農業の魅力を発信するとともに、就農のための研修制度・受入体制の充実強化、女性農業者の育成・農福連携などによる多様な担い手や労働力の確保・育成
- 高齢者等が栽培しやすい作目の導入や道の駅等の直売所の有効活用、都市と農村の交流を通じた中山間地域の活性化
- 都市近郊型農業に対応した、災害に強く生産性の高い基盤づくり
- 久万高原町などの寒冷地での家畜損耗防止を目的とした分娩監視システム等IT技術の活用
- 久万高原町を中心とした、林業関連の新規参入者の確保に向けた、スマート林業に対応可能な人材育成
- 持続的な漁業を目指し、科学的な根拠に基づく資源管理の促進
- 各市町の風土に適した独特の作物の産地づくり(日本一のアボカド産地を目指す取組み〔松山市〕やはだか麦プロジェクトの推進〔松前町〕など)

## 5 松山都市圏域のインフラ整備

- 本県の空の玄関口となり、物流の拠点となる松山空港や松山港の機能強化
- 松山都市圏の慢性的な渋滞の緩和や、交通拠点間のアクセス性向上を図る松山外環状道路の整備推進
- 中予圏域の海岸における津波・高潮対策や海岸施設の地震対策、老朽化対策の推進
- 本県の陸の玄関口となるJR松山駅付近連続立体交差事業の整備推進や松山駅周辺土地区画整理事業の整備促進
- 〔松山市〕中心市街地の活性化に資する「松山市駅前広場」の整備推進
- 高速道路へのアクセスを向上させ、防災・救急医療体制の強化のほか、産業や観光の振興に資する「東温スマートインターチェンジ」の整備促進



重信川サイクリングロード



障がい児創作体験モデル事業



大学生と若手職員WS



災害対策本部訓練(中予地方局)

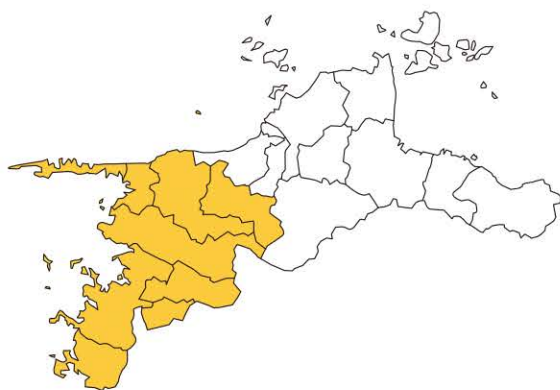


林業 ICT

### (3) 南予エリア

宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町

#### ■ 地域の特徴



#### 【地理】

- 南予地域は、県の南西部に位置し、4市5町で構成され、総面積は約2,520km<sup>2</sup>で県全体の44.4%を占めています。
- 地域の西側は豊予海峡を隔てて大分県と向かい合っている一方、東側は四国山地を挟み高知県と接しており、古くから経済的なつながりを有するとともに、文化的な交流が盛んです。

#### 【自然】

- 佐田岬半島から宇和海沿岸は、県内で最も温暖である一方、内陸の山間部では雪が降るところもあるほか、大洲盆地を流れる肱川では、秋から冬にかけて、発生した霧が一気に吹き抜ける「肱川あらし」と呼ばれる現象が起こるなど、多様な気候環境が見られます。
- 内陸部の四国カルストや県内最大の流域面積を誇る肱川に加え、沿岸部では日本一細長い佐田岬半島やリアス海岸の続く宇和海沿岸など、豊かな自然と美しい景観に彩られた地形を有しており、その多彩な地形から、平成25年に西予市が四国西予ジオパークの認定を受けました。

#### 【観光文化】

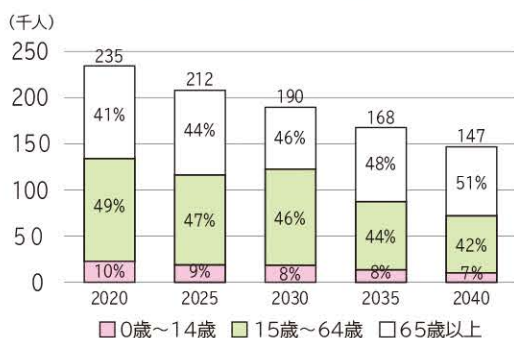
- 上記のような地域特性は、多くの歴史的な文化遺産や各地に伝承される伝統的習俗、食文化などを育み、穏やかで情緒あふれる地域を形成しており、平成30年7月豪雨災害からの復興を目指して令和4年に開催した「えひめ南予きずな博」でも、自然を活用した多彩なアクティビティなどの体験コンテンツに生かされるなど、観光資源としても高い可能性を秘めています。

#### 【産業】

- 恵まれた日照条件とかんきつの生育に適した傾斜地を利用して栽培されている柑橘農業をはじめ、豊かな森林資源を生かした林業やしいたけ栽培、酪農や肉用牛・豚などの畜産業、リアス海岸の波静かな入江を利用したマダイ、ブリ、真珠、真珠母貝などの養殖業など、多彩な農林水産業が展開され、この地域の基幹産業となっています。

## ■地域の現状と課題

南予地域の将来推計人口



〔出典〕愛媛県推計

域内総生産の推移



〔出典〕令和元年度愛媛県市町民所得統計

- 令和2(2020)年の総人口は23.5万人ですが、県内他地域と比べて人口減少が早く進んでおり、このままの状態推移した場合、令和22(2040)年には14.7万人、そのうち半数は65歳以上の高齢者になると推計しています。
- 令和3(2021)年の人口の移動状況は1,526人の転出超過ですが、県内(主に中予)への転出超過が約6割を占めており、県外流出よりもウエイトが高くなっています。
- 超少子高齢化等により、他の地域より進んでいる急激な人口減少に対し、集落機能の維持・活性化、生活交通の存続、子育て支援など、住民が安心して暮らすことができる環境づくりが必要となっています。
- 域内総生産の推移は、横ばいの傾向が続いていますが、平成30年7月豪雨で被災した地域をはじめとして、農林水産業従事者の高齢化や後継者不足等により、今後も生産額が減少していくと考えられます。低迷が続く地域経済の活性化のため、各産業の底上げや観光まちづくりの推進などによる新たな実需の創出が強く求められています。
- 四国で唯一立地する原子力発電所の安全・防災対策の強化はもとより、過去から頻りに氾濫を繰り返す肱川の治水対策をはじめ、近い将来発生が危惧される南海トラフ地震により引き起こされる津波・高潮などから自助・共助の精神で身を守る意識の早期醸成が望まれるほか、災害時に広域避難や緊急輸送の軸となる高速道路や大洲・八幡浜自動車道の更なる整備にも力を入れる必要があります。

## ■地域づくりの方向性(目指すべき姿)

エリアコンセプト

豊かな自然の恵みと穏やかで情緒あふれる癒やし空間が人を惹きつける交流促進エリア

### 1 安全・安心な暮らしづくり

- 伊方発電所に係る安全・防災対策を推進し、大分県などとの連携により住民避難を多様化
- 近年頻発化・激甚化する豪雨災害などの大規模災害に備えた防災士を中心とした自主防災組織の活性化など、「自助・共助」の意識醸成等による地域防災力の向上や、企業版BCPの作成促進
- 発生が危惧される南海トラフ地震等に備えた宇和海沿岸市町との連携による、夜間・早朝などを想定した実践的な避難訓練や事前復興計画の策定など津波対策の促進
- 東予・中予地域と比べて人口減少が急速に進む中で、誰もがいきいきとした生活が送れる助け合い・支え合いの精神があふれる地域づくりの推進

## 2 農林水産業を核とした活力ある産業づくり

- 災害に強い園地への再編復旧と紅プリンセス等の産地化による柑橘農業の復興
- ブラッドオレンジ、河内晩柑、ゆずなど南予特有のかんきつを生かした「儲かる農業」の実現と紅まどんななど県オリジナル品種を中心とする年間を通じたりレー販売による魅力ある産地づくり
- さといも種芋やキウイフルーツ花粉の他地域への供給など、新たな農業ビジネスの創出
- 柑橘農業におけるAI選果、農林業におけるドローン防除、海面養殖へのAI搭載自動給餌機の導入等によるスマート農林水産業の推進
- 農林水産業の振興に向けた移住者やみかんアルバイトなど、多様な担い手の確保及び環境整備
- 全国初となる、市町が連携して開校した林業大学校による林業担い手の確保・育成の促進
- 管内に集中する林業・木材産業をパッケージとした魅力発信による、林業関連産業の担い手確保・育成の促進
- 県下6割以上を占める南予地域の鳥獣被害額軽減に向けた、野生鳥獣の被害防止施設や捕獲獣肉処理・加工施設の整備とペットフード等の商品化の推進
- アコヤガイのへい死被害に強い貝づくりの推進などによる真珠・真珠母貝養殖業の再興及び海外に向けた販売拡大
- 生産者と県試験研究機関(みかん研究所、畜産研究センター、水産研究センター)との連携・交流による技術レベルの向上
- 南予地域外への就職率が高い若年層の地元定着に向けた地元企業のPR力強化や人気企業の誘致・留置対策の推進
- 世界マーマレード日本大会開催による6次産業化の推進〔八幡浜市〕、大洲ええモンセレクション認定制度などによる大洲ブランド創出〔大洲市〕、「まつのジビエ」のブランド化〔松野町〕、「ジビエペットフード」〔宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町共同〕など、豊かな地域資源を活用した商品開発

## 3 訪れたい・住みたいまちづくり

- 全国有数の釣り環境や地域資源を生かした企業合宿型ワーケーションの受入体制整備と誘致・再訪促進
- 「えひめ南予きずな博」の成果などを活用した付加価値の高い観光コンテンツの創出による滞在交流型観光への転換と誘客促進
- 南予移住マネージャーや地域おこし協力隊OB・OG団体と連携した移住定住の促進
- 沿線市町が取り組む観光まちづくりなどと連携した予土線沿線地域の活性化
- 宇和島・広見川流域や伊予灘・佐田岬せとかぜ海道における、広域連携によるサイクリングの振興
- 圏域内外から訪れたいくなる、地域資源を生かした観光振興
- 観光施設の更なる充実(改築が予定される伊達博物館〔宇和島市〕(令和9年春オープン予定)、保存修理を進める内子座〔内子町〕(令和5年度以降修理予定)、整備が進められている亀ヶ池温泉・佐田岬半島ミュージアム〔伊方町〕(令和5年度中整備予定)など)
- 〔八幡浜市〕やわたはま国際MTBレースの開催
- 地域の特色を生かした滞在型観光の推進(歴史的資源の残る町並み〔大洲市〕、四国西予ジオパークの活用〔西予市〕、多彩な自然を生かした滞在型アドベンチャーツーリズム〔松野町〕、「鬼のまちづくり」及び近永駅周辺賑わい創出プロジェクトの促進〔鬼北町〕など)
- 〔愛南町〕持続可能な住みたいまちづくり(愛南町SDGs水産環境未来都市構想の推進)

## 4 地域を支える基盤づくり

- 平成30年7月豪雨からの社会基盤・農林業生産基盤の災害復旧・復興への迅速な対応
- 地域住民の暮らしに不可欠な生活道路網や災害時の緊急輸送道路となる幹線道路網の整備推進
- 高速道路ネットワークのミッシングリンクである津島道路及び宿毛内海道路の整備促進、並びに大洲・八幡浜自動車道「夜<sup>よる</sup>昼<sup>ひる</sup>道路」・「大洲西道路」の整備推進
- 南海トラフ地震の発生に備えた宇和海沿岸の津波対策や海岸施設の老朽化対策の推進
- 地域住民が利用しやすい公共交通や離島航路の維持確保と予土線の利用促進



原子力防災訓練



高速道路の整備促進（八幡浜道路）



企業合宿型ワーケーション



予土線沿線地域の活性化

TAKE FREE



えひめ  
いやしの南予

# YASHI

南予いやし体験プログラム集

内子町 大洲市 八幡浜市 伊方町 南予市 宇和島市 津島町 松野町 喜多町

さあ南予を体験しよう！

さあ南予を体験しよう！

魅力いっぱい！  
南予9市町で楽しめる  
体験プログラムを一挙掲載！

- アウトドア
- まち歩き・歴史文化
- ものづくり
- 食文化
- 手作りイベント
- 【Pick Up!】釣り
- 【Pick Up!】SDGs
- 【Pick Up!】E-BIKEレンタル

モデルコースも必見!!

【特集】

南予の魅力が止まらない！  
BBQ/道の駅イテオングルメ/イルミネーション/  
ユニークステイ/ゲストハウス

南予いやし体験プログラム